

平成 29 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定)	1 年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①生徒の学習意欲を高め、進路実現を図る Semester 制の教育課程編成と組織的な授業改善に取り組む。 ②課題研究等を見直し、課題解決力や表現力を高める探究活動の充実を図る。	① Semester 制導入に係る諸課題を解決し、新教育課程を有効に活用した学習指導や履修指導に取り組む。 アクティブ・ラーニングの視点を踏まえた授業の実践と組織的な授業改善を推進する。	①生徒のニーズや進路希望を調査し、年次進行型 Semester 制教育課程を完成し、履修指導における校内体制を整える。 授業改善に関する校内研修や授業研究の機会を増やし、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を実践する。	①生徒の多様な進路実現を図る年次進行型の Semester 制教育課程の 2 年目、3 年目ができ、履修指導の導入準備ができたか。 校内研修や研究授業を通じた授業改善を積極的に行い、生徒の満足度を高めることができたか。
2	生徒指導 ・支援	①部活動を活性化させ、生徒の責任感や協働力の涵養を図る。 ②専門家と連携し、生徒の社会的自立を促す、きめ細やかな生徒指導・支援の充実を図る。	①生徒の主体性を重視し、部活動や生徒会活動の活性化を図る。 ②教育相談コーディネーターや養護教諭、各カウンセラーなどの緊密な連携のもと、一人ひとりの生徒に応じた組織的支援の充実を図る。	①生徒のリーダーを育成し、部活動や生徒会活動が自主的に行われるよう支援する。 組織的・積極的な勧誘を行い、部活動加入率を高め活動を活性化させる。 ②教育相談コーディネーターや養護教諭、各カウンセラーなどの支援体制を整え、生徒情報の共有やケース会議の開催などにより、組織的な生徒支援を図る。	①育成したリーダーを中心に自主的な運営がなされたか。 部活動加入率を、前年度の 1 割増し以上にできたか。 ②校内の支援体制を整えることができたか。 生徒情報の共有とケース会議の開催を円滑に行い、具体的な生徒支援につなげることができたか。
3	進路指導 ・支援	生徒が主体的に進路を考え、実現に向けて必要な能力と態度を育む指導・支援の充実を図る。	外部の人材や教育力の活用、模擬試験の効果的実施などの取組を工夫し、キャリア教育の充実を図る。	外部講師を招聘した教員向け研修会を実施し、生徒に対するガイダンスを充実させる。 外部の人材や教育力を活用し、生徒の校内での学習や校外での体験活動などの充実を図る。 校内模擬試験の内容改善を行い、生徒の進路意識の高揚を図る。	教員向け研修会の成果を生徒との面談などに活用し、各生徒の進路選択に役立てることができたか。 生徒の学習活動に外部の人材や教育力を有効に活用し、活用回数を増やすことができたか。 校内模擬試験の改善により生徒の進路意識が高まったか。
4	地域等との 協働	地域との交流や協働を深め、信頼され開かれた学校づくりを推進する。	本年度から導入するコミュニティ・スクールの円滑な運用を図り、地域や保護者等との交流や連携をさらに深める。	コミュニティ・スクールの組織を立ち上げて機能させ、地域行事やボランティア活動などへの生徒参加や地域との連携を推進し、生徒の教育活動に生かす。	地域行事やボランティア活動に参加する生徒が増え、地域貢献を通じた教育活動の充実が図られたか。 コミュニティ・スクールを機能させ、コスモス栽培などに関する地域連携事業を推進することができたか。
5	学校管理 学校運営	職員の教育力や事故・不祥事防止に係る取組を効果的に実施し、協働意欲と組織力の向上を図る。	職員の教育力向上や不祥事防止に向けた取組や研修を継続的に行う。 地域と連携した防災訓練等を実施し、災害対応に対する職員や生徒の意識を高める。	職員の資質向上や不祥事防止に向けた研修をより有効なものとなるよう工夫し、計画的かつ継続的に行う。 学校と地域が連携した防災訓練や D I G 研修を実施し、防災教育の充実を図る。	研修会のアンケート結果などに研修効果の向上が見られ、職員の事故・不祥事を未然に防止することができたか。 地域と連携した防災訓練や D I G 研修を実施し、職員や生徒の防災意識を高めることができたか。